

情勢報告（令和8年6月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

暑い夏を乗り越えよう ～赤ピーマン高温対策調査～



調査区の様子

5月26日、遮熱シートを展張した土佐町の赤ピーマン生産者ほ場において、第1回生育調査を実施しました。

普及所では、収量および品質の向上を目的として、ハウス内環境データの収集と生育調査（主枝長、主枝節数、開花数、着果数）を隔週で実施しています。今後、これらの調査結果と収量・品質の結果を併せて分析し、遮熱シートの効果を検証します。

本資材の実証調査は今年で2年目となります。本年度は費用対効果も検討し、生産者に対して高温対策の選択肢の一つとして周知していく予定です。

普及所では、今後も関係機関と連携して、高温対策の検討を行い、産地の生産力向上と生産の安定化を目指します。

今年の普及指導活動について話し合いました ～令和8年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



活発な意見が出されました

5月27日、嶺北農業改良普及所会議室で、令和8年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員5人、関係機関5人が参加しました。

会では、「普及指導計画」により本年度の普及所の活動を説明し、「中山間地農業ルネッサンス事業に係る地域別農業振興計画」について情報提供を行いました。続いて意見交換を行い、委員から高温対策やれいほく八菜の情報発信、地域計画の取組等について多数の意見が出されました。

普及所では、協議会でいただいたご意見をふまえ、本年度の普及指導活動に取り組んでいきます。

草生栽培によるユズの除草作業省力化を検討しています！



は種・定植作業の様子

嶺北地域のユズ栽培では、雑草管理において刈払機を用いた除草に係る労力が大きいものの、園地の多くが急傾斜地にあり、かつ不整形であることから、省力化機械の活用は進んでいません。

ユズ栽培を継続するため、除草作業の省力化が課題となっています。

そこで、普及所では今年度、イワダレソウやダイカンドラなどのグランドカバープランツ（地被植物）を利用した草生栽培による抑草効果の検証を行っています。6月4日には、大豊町内の2か所のほ場にて、これらの植物のは種・定植作業を行いました。

普及所では引き続き生産者や関係機関と協力して除草作業省力化をはじめとするユズ産地の維持・拡大に向けた取組を推進していきます。

高品質なシシトウ出荷に向けて ～シシトウ部会目慣らし会～



説明を聞く生産者

6月5日、J Aれいほく園芸部シシトウ部会が目慣らし会を開催し、新規栽培者を含む部会員など29人が出席しました。

この会で、J Aからは出荷調製時の注意点について、普及所からは、梅雨～夏季の栽培管理、高温対策等について説明を行いました。説明の後は、出荷規格の詳細や栽培管理方法について活発な質疑応答が行われ、今後の栽培・出荷に向けて意欲を高める場となりました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携し、シシトウのさらなる収量・品質の向上に取り組んでいきます。